



汐鳴り 二宮中学校学校だより

ホームページアドレス: ninomiya-junior-high-school.edumap.jp/

令和2年度

No. 7

発行: 松本雅志

◎汐鳴祭体育の部が行われました

9月18日(金)二宮中学校の最も大きなイベントの一つである、汐鳴祭体育の部が行われました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、1学期に実施することができず、2学期の開催についても職員間で様々な意見がありました。しかし、教科の授業だけでなく、行事や特別活動で様々な経験をすることで、人とのつながりや達成感、自信を持って欲しいとの願いもあり、感染防止対策を踏まえた上で、汐鳴祭体育の部を行うことに決定しました。

当日は、朝から土砂降りの雨で、開会式が1時間遅れとなりましたが、登校した役員の生徒たちは会場作りに一生懸命に組みました。折しも、雨上がりには生徒たちを応援するような美しい虹が見られました。

開会式では、生徒会長、体育委員長からそれぞれ汐鳴祭体育の部への想いが語られ、体育委員長の神保さんからは「体育祭ができない学校も多い中で開催することができて、いろいろな方々に感謝します。1年に1度だからこそ、全力で楽しんで最高の体育祭を創り上げましょう!」と力強いメッセージが全校生徒に伝えられました。

「密を避ける」ために、どの競技もソーシャルディスタンスを意識したものとなりました。最初の競技は体育委員会が考案したSDS(スピード・デリバリー・シュート)という競技です。各クラスが、いかに早く、正確に、たくさんの玉を運ぶかを競い合い、初めての競技とは思えないほど白熱しました。その後は、学級対抗選抜リレー、クラス全員リレー、学年ごとの種目として、1年生は段ボールを次々に積み上げてリレーする「段ボールダンダン運んで」、2年生は大玉を2本の竹ざおで挟んで運ぶ「Uber Ball」、3年生は力と力のぶつかり合い「綱引き」を行い、どの学年も手に汗握る熱い戦いが繰り広げられました。

最終種目の「みんなでジャンプ」は、クラスの人数を半分にし、距離を開けての挑戦です。1年生から学年が上がるごとに記録が伸び、3年生の最高回数は76回という素晴らしい結果が出ました。

全ての種目が終わり、閉会式の中で、汐鳴祭体育の部を創り上げた3年生の体育委員から最後の言葉がありました。誰もが一生懸命に体育祭に取り組んでいたこと、生徒全員が笑顔で終わった事などを伝えてくれました。

次に行われる汐鳴祭文化の部が、さらに素晴らしい行事になることを願っています。

1年学年種目



汐鳴祭体育の部

2年学年種目



3年学年種目



活躍した体育委員会のメンバー

